



# あいち通信 第七十八号

年頭御挨拶 日本会議愛知県本部理事長 森藤左門

本年もよろしくお願ひ申し上げます。  
皆様には、昨年度の会員ご継続、新規ご入会をいただき、誠にありがとうございました。そして、愛知県本部主催行事への参加、憲法改正に向けた街頭活動や賛同者拡大にご協力賜り、重ねて感謝申し上げます。  
本年は、参議院選挙が実施されますが、何としても改憲勢力三分の二を確保せねばなりません。憲法改正の命運は、一にこの選挙にかかっています。  
また、昨夏設立された「美しい憲法を作る愛知県民の会」を中心に、憲法改正啓発映画(百田尚樹氏総指揮)の県内市町村上映運動、啓発チラシ1000万部配布運動、愛知県目標の三十万賛同者拡大(残り十五万)の達成に向けて、推進してまいります。

つきましては、各団体様、支部様、会員様宛てにご案内をいたしますので、ご支援ご協力をよろしくお願ひいたします。  
お一人お一人の力が結集すれば、大きな連帯の輪が生まれ、必ずや「日本の誇りを取り戻す」「憲法改正」が成就するものと信じております。  
この原稿を書いているとき、北朝鮮の核実験疑惑がマスコミ報道されました。我が国を取り巻く厳しい国際情勢の中、現行憲法で、日本は生き残ることができぬのか。日本人が作った憲法でなくて、今の若い世代や子供たちが、立派な国民として育っていくのか。  
本年は正念場の年。皆様にも再度ご無理を申すと存じますが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。  
平成二十八年一月吉日

## 天皇陛下の御誕生日をお祝いする 愛知県民の集い 開催報告

去る十二月二十三日、アパホテル名古屋錦において「天皇陛下の御誕生日をお祝いする愛知県民の集い」が開催された。平成二十七年、天皇陛下におかれましては、御歳八十一歳をお迎えになった。とりわけ終戦七十年の節目に当たり、パラオ共和国を慰霊のため行幸あそばされ、深い祈りを捧げられた。また、愛知県には御即位より五年ぶり六回目の行幸啓を賜った年でもあった。

第一部奉祝式典では、重富亮氏(日本会議愛知県本部会長)より、七月二十六日に開催された、天皇皇后両陛下奉迎式典についての謝辞が述べられた。続く来賓挨拶で、藤沢忠将氏(名古屋市長)より、行幸啓中の昼食会に



陪席されたエピソードが紹介された。皇后陛下の隣に着席され緊張して召し上がったこと、その折に両陛下が前夜の提灯奉迎に触れられ、懇篤な御言葉を賜ったことなどであった。その後、全員で「天皇節の歌」を斉唱して第一部を終了。  
第二部では、大葉勢清英氏(日本青年協議会書記長)より、記念講演として「天皇陛下の慰霊行幸を仰ぐ」と題してお話をいただいた。大葉勢氏は、パラオ慰霊奉迎団事務局長として現地へ赴き、日本からの青年学生と共に奉迎活動に従事された方である。講演では、日米双方二万名が戦死したペリ



リユウ戦のことや、いまなおパラオの人々が日本に親しみを抱いていること、そして、両陛下がいかに英霊に対してお心を寄せ続けているのかが、などを切々と語り続けた。会場内は、涙ぐんでいる人が多くあり、暖かい雰囲気にも包まれた。天皇陛下を戴く日本人の霊性が共鳴し合ったのだと思う。  
散会に当たり、南部文宏氏(愛知県議会議員)の先導によって聖寿万歳を全員で三唱し全ての次第を終了した。

(愛知県本部 事務局長 服部守孝)

## 報告・名古屋東部支部第二十七回 街頭演説活動実施!

●開催日時 十二月二十七日(日) 午後一時〜午後三時 ●会場 昭和区 御器所交差点南西角地 ●会費 無料 ●参加者数 四名 ●内容 街頭演説活動「自主憲法制定について」：風が若干強く冬の寒い天候の中でしたが、「自主憲法制定」に関して、弁士三名が其々の側面から自主憲法制定の必要性をしっかりと訴えさせて頂きました。「領土的野心を隠そうとしない中国に對峙していく為にも憲法を変えるべき」「拉致事件の解決のためにも九条二項の改正を」「自主防衛の精神の欠片も見られない憲法前文には問題が大いにある」などを争点として挙げさせて頂きました。また、安保法制に関連して軍備による抑止力の必要性等も訴えさせて頂きました。街宣活動終了後、近くの喫茶スペースにてミーティングを行いました。☆次回予定 一月二十四日(日) ●内容 街頭演説活動「自主憲法制定について」 ●場所 御器所交差点周辺 ●時間 午後一時〜午後三時 ※終了後、ミーティングを付近の喫茶店にて行う予定です ●お問合せはメール (kakehashi.katou@hotmail.co.jp 加藤貴之宛)までお気軽にご連絡の程、宜しくお願ひ致します。(名古屋東部支部 事務局長 加藤貴之)



陵墓参拝記 その十二

西日本巡礼の旅、六日目はまず薩摩半島の南端、指宿市にある式内、枚聞神社です。御祭神は大日靈貴神(おひるめのむちのかみ)、天照大御神の別名です。二礼二拍手一礼。開聞岳がきれいに望めました。近くには玉乃井があります。日本最古の井戸と伝わり、山幸彦と豊玉姫が出会った所と伝えられています。二礼二拍手一礼。



玉乃井

The oldest well in Japan  
일본에서 가장 오래된 우물  
日本最古の井/日本最古的井

神代の昔から日本最古の井戸と云われ、山幸彦と豊玉姫が初めて出会ったところと伝えられています。現在、井戸は枯れていますが、神話時代の恋物語を現代に伝える伝説の地として残されています。



それから北上して薩摩半島の内陸部にある知覧へ、特攻平和会館を見学、あらためて英霊に感謝。

次は知覧とは桜島や錦江湾を挟んでちょうど反対側にあたる大隅半島の鹿屋に向かいました。錦江湾をぐるりと距離にして百四十余キロ、二時間半程の行程です。知覧が帝国陸軍の特攻基地であったのに対し、鹿屋は帝国海軍の特攻基地でした。鹿屋には今でも海上自衛隊の航空基地があります。そして敷地内には海上自衛隊鹿屋航空基地史料館があります。入館料無料にもかかわらず知覧特攻平和会館よりも充実した展示内容でした。



それによいよ同じ鹿屋市にある天津日高彦波瀲武鸕鷀草葺不合尊、神武天皇のお父君の吾平山上陵に向かいます。鹿屋航空基地からは南に十五キロ、車で三十分ほどのところにあります。参道入り口に車を停めて砂利の参道を歩きます。途中小さな川に架かる橋を二度渡り川沿いに奥へと進みます。すると伊勢の内宮みたいに川へ降りて手を洗う場所がありました。そしてさらに奥へ進むと御陵は川越しの奥まったところにあります。橋は架かっているのですが渡り口は鉄扉が閉まっています。川越しに御陵を臨み二礼二拍手一礼。



これで日向三代の御陵参拝もコンプリートしました。日向三代含め歴代天皇の御陵参拝は一通りさせていただきましたのですが実はまだまだ陵墓参考地、火葬塚、殯斂地、追尊された太上天皇の御陵等々があります。今後も機会を見つけて参拝を続けたいと思います。この旅もまだまだ続きます。明日は宮崎県の神話にまつわる神社、旧跡を巡ろうと思っているので今日のうちに宮崎県へ移動しようと思いを走らせました。宮崎県に入り夕方近くまで来たのですがビジネスホテルがあるような市街地がありません。とうとう明日の最初の目的地である鶴戸神宮の入り口まで来てしまいました。そこに南光という民宿がありそのご夫婦らしき人が外で作業をしていました。声をかけてみると泊めてもらえとのことなのでそこに宿をとることにしました。

夕飯の時、奥さんと話して、陵墓や神話にまつわるところを巡っている話すと、「夫婦の娘さんが社会の先生をしていて神話を熱心に教えているとのこと、これは一と一思い憲法改正署名をお願いしました。三筆いただきました。(愛知県本部 事務局 松川秀康)

事務局日誌(十二月) 服部守孝

四日(金)愛知県遺族連合会へ靖国カレンダラーの代金を持参。事務局長殿にもご挨拶申し上げた。夜は株式会社フローラの年末懇親会に参加。

愛知県護国神社清掃奉仕予定

- 2月7日(日)午前8時開始、9時終了予定。
- 引き続き3月6日(日)午前8時開始とします。
- 軍手を必ずご持参ください。また、小雨なら社殿の木杵拭きをしますので雑巾をご持参下さい。大雨は中止になりますが疑わしい天気の場合には、現場責任者の服部宛、電話(070-6583-4588)を下下さい。
- ★1月10日は、19名の方に参加していただきました。2名の方が初参加でした。ありがとうございました。



(1月10日 奉仕後に撮影)

●「日本の息吹」を引き続きご購入くださいますようお願いいたします。

七日(月)戦争展企画会議に出席。明年は、「歴史戦に終止符を！」の趣旨にて、南京事件と慰安婦問題を再特集することになった。十二日(土)所用にて上京。在京の友人が吉祥寺を案内してくれた。ハモニカ横丁や井の頭公園などを散策。屋敷は「吉田類の酒場放浪記」で紹介された串焼き「いせや」で。串一本八十円也。

二十三日(水)天皇陛下の御誕生日をお祝いする愛知県民の集いを開催。※詳細一面  
二十五日(金)年末挨拶回り。今夏の天皇皇后両陛下奉迎式典にてご支援いただいた方や、憲法改正賛同者拡大につき協力いただいた方を訪問し、御礼言上。  
二十六日(土)知多支部・武豊友の会十二月定例会に参加。武豊町在住の会員が、地元の武雄神社に集い、一年間を振り返った。ゲストに半田市議の先生も参加され、この機会に入会下さる事になった。  
二十八日(月)平成二十八年国民運動の感謝奉告に熱田神宮を参拝。境内は迎春準備が進んでいた。近年、鳥居前の一礼や、拝殿前での二礼二拍手一拝の作法をする人が増えている。素晴らしいことだと思ふ。  
二十九日(火)夜、竹田研究会の運営スタッフが来局。恒例すき焼き大会を開催。私のすき焼きの作り方が好評で、毎年楽しみに来て下さるのだ。  
三十日(水)午前中は事務所の掃除。午後より来客応対で中断。明日に持ち越し。  
三十一日(木)やり残した掃除を続行。夕方ようやく終了。これで清々しい新年を迎えることができる。